



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075-432-3261

2014年2月②発行

敬老乗車証は今のままの制度で！

2月14日、敬老乗車証を守ろう！連絡会が、京都市に要望署名第三次分3204人分を提出されました。トータル8388人です。「一筆ずつに心が込められています」と渡されました。懇談では「署名は集めるものだと思っていたが、この署名は集まってくる署名です。」「『改悪されたら生きていけない。助けてほしい』と手を合わせておがまれた」高齢者にこんなことを言わせるなんておかしい！と次々、ご意見が出されました。早川一光さんも「ちょっと待ちたまえ！それやあきまへんわ」「なにもかも失った日本をここまでたち直らせてきたのも今のお年寄りや。僕は年寄りも国民の功労者と思う…」とメッセージを寄せておられます。その通りです。京都市は市バスがICカード対応になれば、一回乗るごとに、100円程度の負担をする応益負担に変えようとしています。せめて、今のままの制度を継続してほしいという願いに京都市は応えるべきです!!

議会には、交通局からバスにICカード対応の設備予算が提案されており、敬老乗車証のIC化検討・調査300万円が計上されています。



京都市役所内会議室で、敬老乗車証を守ろう！連絡会の代表の方が、保健福祉担当局長に思いを込めて、署名を渡されました。



雪の中、京都市の敬老乗車証改悪反対！市民の宝である敬老乗車証を守ろうと市役所前で集会が開催されました。尾崎望さんも駆けつけて、激励のあいさつをされました。高齢者を応援する府政転換に向けての決意も語られました。右端が玉本なるみ市議

2月予算市会が開会されました。

4月からの消費税増税を前提にした料金値上げがたくさん出ています。市バス・地下鉄の値上げ、11月に上げたばかりの水道料金の再値上げなど・・・。

福祉の切り捨てとしては、市身体障害者リハビリセンター付属病院や公立保育園の廃止提案が出されています。

今の知事が、リハビリテーションを積極的に取り組んでいた府立洛東病院を2005年につぶしましたが、京都市までリハビリセンターの外來・入院の入院部分を失くそうとしているのは許せません。医療のないリハビリテーションセンターの運営は弱体化することになるでしょう！

心配されていた老人医療費減額制度（非課税世帯65歳以上の方の1割負担への軽減）は来年度は継続されますが、改悪させないよう今後の運動が必要です。来年度のみ、老人医療支給制度を利用していただいていた方、非課税世帯の方は1割負担ですが、70歳以上の方は新しく70歳になる方から2割負担になります。改善を求めて取り組みましょう！

◆若杉ひでお事務所開き◆



2月16日今宮神社の鳥居から東へ北大路通りに面して、4月6日知事選挙と同時に実施される府議員補欠選挙に立候補表明をされている若杉ひでお事務所開きが開催され、多くの方が駆けつけられました。「若ちゃん！頑張ろう！」「若ちゃん！大好き！」など。元の職場の仲間の方もたくさん来られ、激励されました。ぜひ、お越しください。

つぶやき：恒例のお餅つき

時々、時雨れる日でしたが、上賀茂診療所のガレージで、上賀茂健康友の会のお餅つきがあり、伺いました。浜田府会議員とコンビニで一日だけ、臼とりをしました。今年は、薬局のみつばちの方も参加され、賑やかなお餅つきとなりました。



毎年恒例となっている行事ですが、続けていくのは大変です。これからも長く続けられることを願っています。



右が尾崎望さん

4月1日からの消費税増税については、5%でも商品に転嫁していかないというお店が何軒かありました。8%になれば、ますます、景気が冷え込むと心配の声が寄せられました。尾崎さんは知事になったら、他の都道府県の知事にも呼びかけ、政府に、引き下げの提案をしていきたいと意欲を示されました。

尾崎さんは大学ノートを片手に、自分はお見聞し、商店の皆さんのご意見をお聞きし、政策に取り入れていきたいとお話していただいたことをノートにぎっしり書きとめておられました。そう、商店の皆さんも、次々といろいろお話をいただきました。

さすが、尾崎さん！

アンテナ

